

## 6-7 相良観測点における歪・傾斜観測(2003年11月～2004年4月)

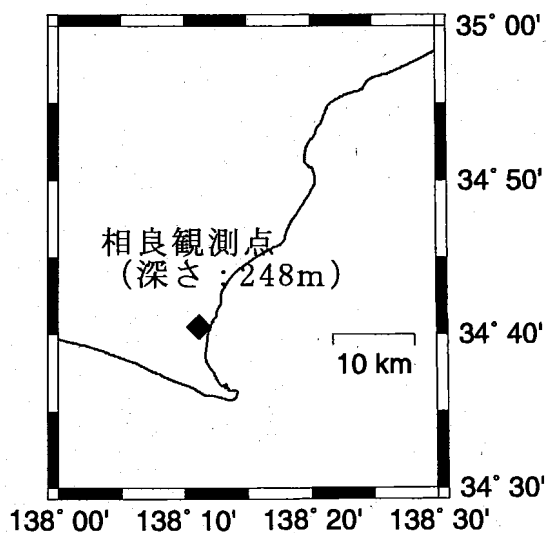
### Continuous strain and tilt observation at Sagara station in the period from November 2003 to May 2004

東京大学地震研究所、地震地殻変動観測センター  
Earthquake Observation Center, Earthquake Research Institute, the University of Tokyo

前報<sup>1)</sup>に続いて相良観測点(第1図)に設置された地殻活動総合観測装置で観測された歪・傾斜変化を報告する。第2図に2003年11月1日から2004年2月7日までの時間値を、第3図に2003年11月1日から2004年5月11日までの時間値を示す。2003年3月は電源停止によるものである。復電後のドリフトがある成分についてはドリフト部分についても欠測扱いとした。前方<sup>1)</sup>でも指摘したことであるが傾斜N291Eup成分で12月ころと4月頃に発生する原因不明の変化は本年もおこった。第4図に観測開始から2004年5月11日までの日平均値を示す。第5図はベクトル傾動図である。2001年1月ころ以降傾斜N291Eup成分で発生している原因不明の変動を除くとそれ以前の南東方向への傾斜変化が非常に小さくなった。第6図に2002年10月から2004年1月までの主歪の変化を4ヶ月ごとに示す。国土地理院御前崎観測場の主歪変化と方向、振幅ともほぼ同じである

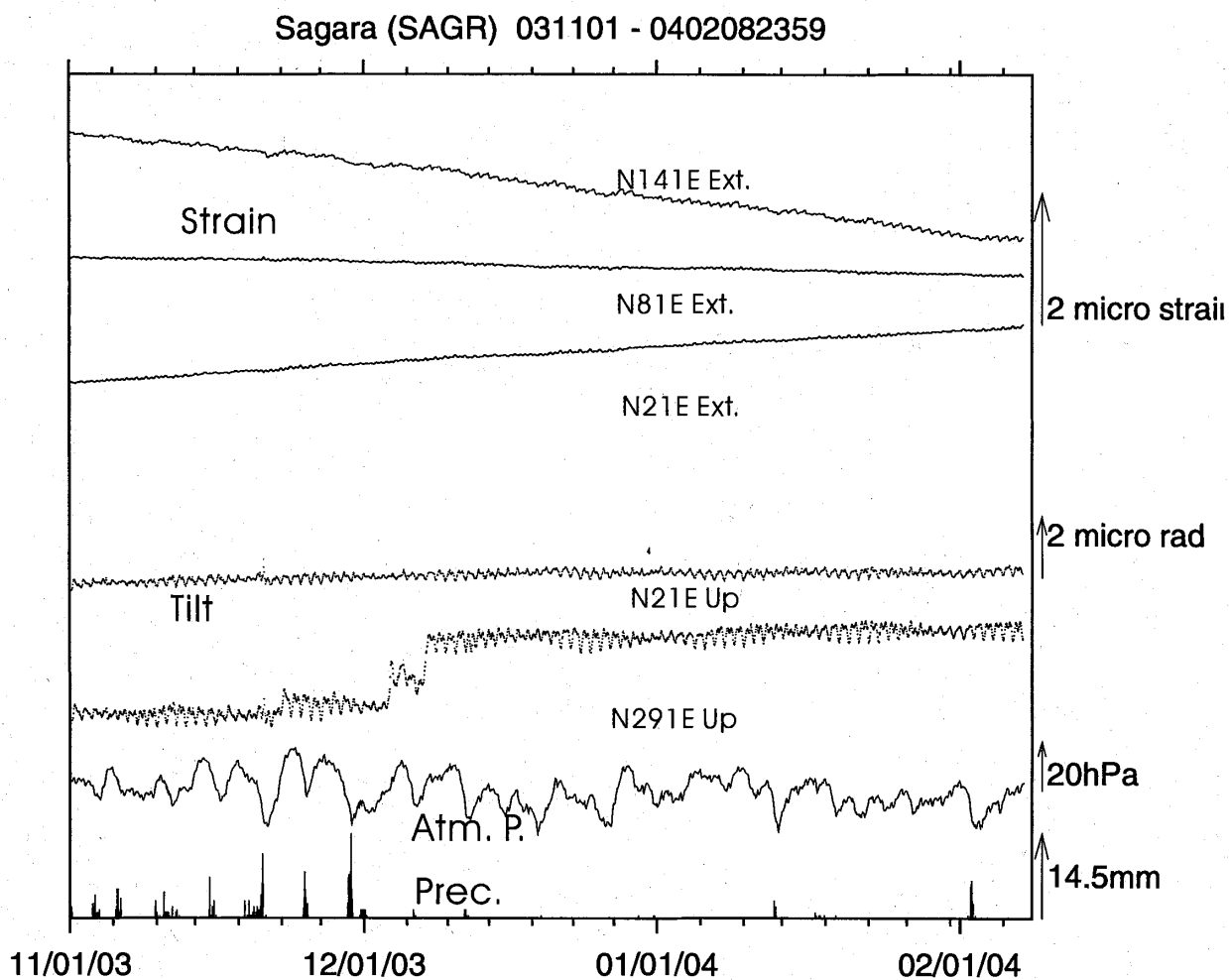
#### 参考文献

- 1) 東京大学地震研究所地震地殻変動観測センター, 相良観測点における歪・傾斜観測(2003年8月～2003年10月), 連絡会報, 71(2004), 599-601.



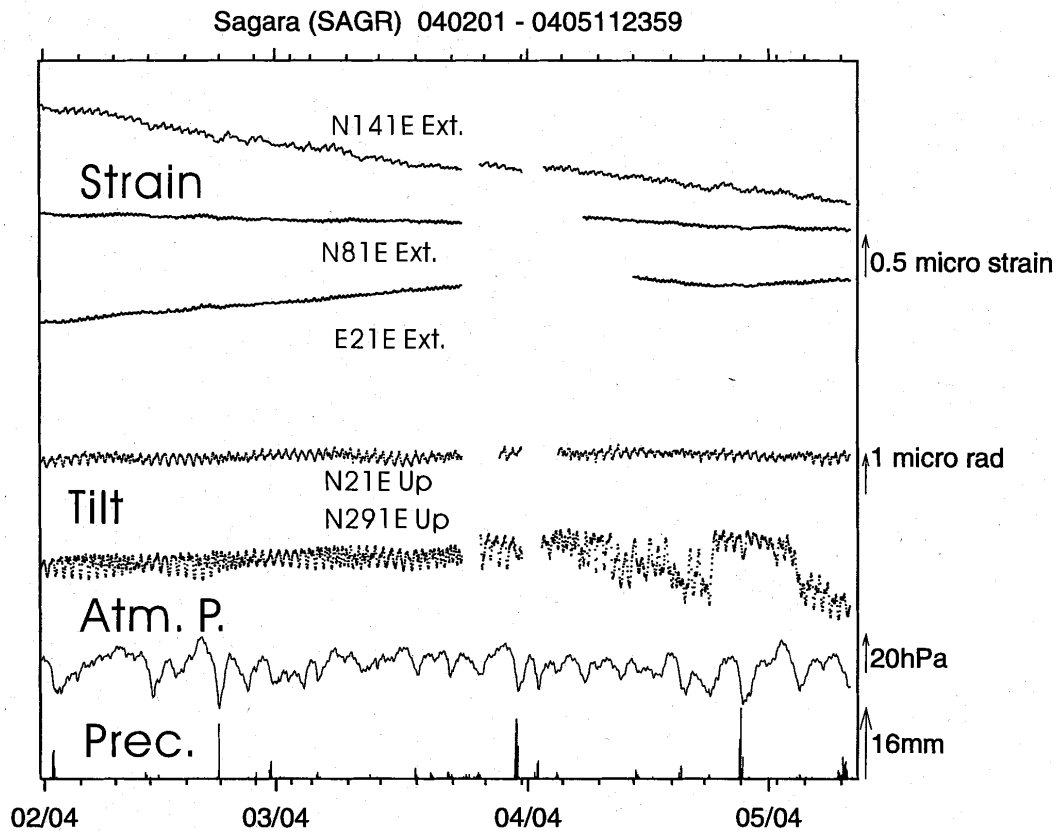
第1図 相良観測点位置図 .

Fig.1 Location map of Sagara station.



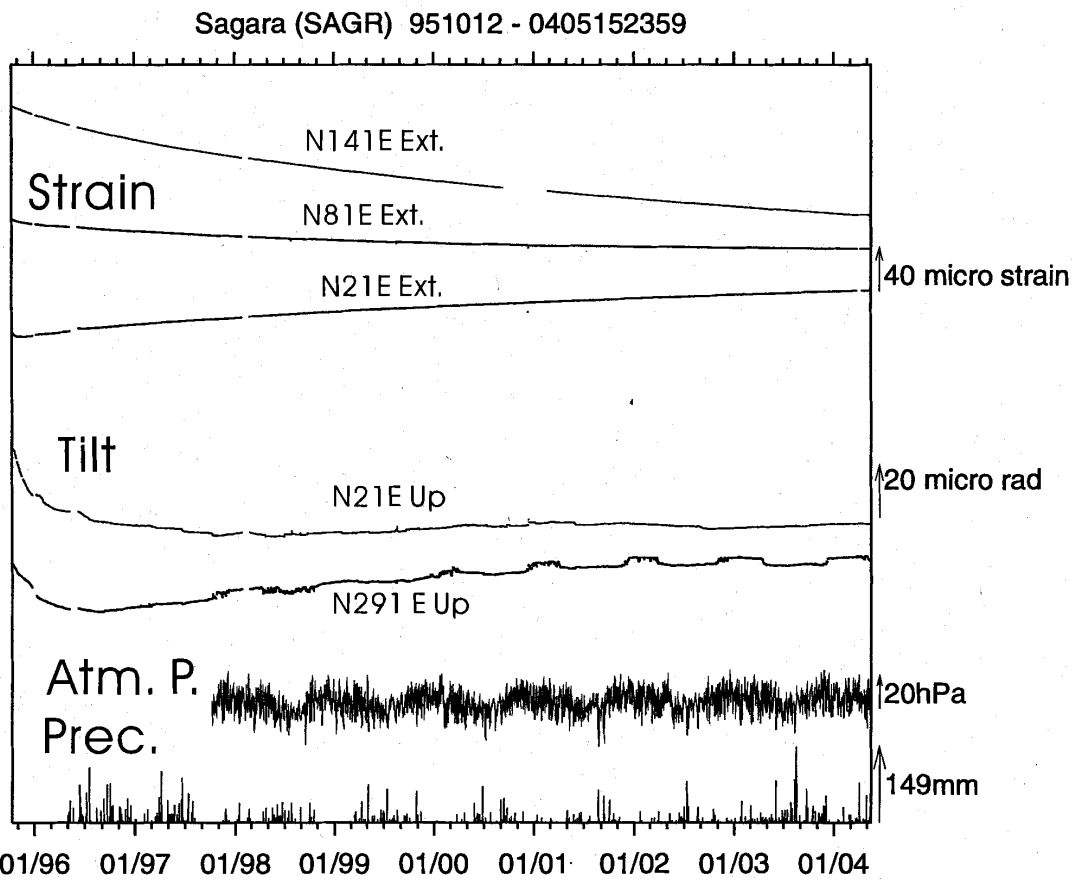
第2図 2003年11月1日から2004年2月7日までの1時間値 .

Fig.2 Hourly strain, tilt, atmospheric pressure and precipitation change in the period from November 1, 2003 to February 7, 2004.



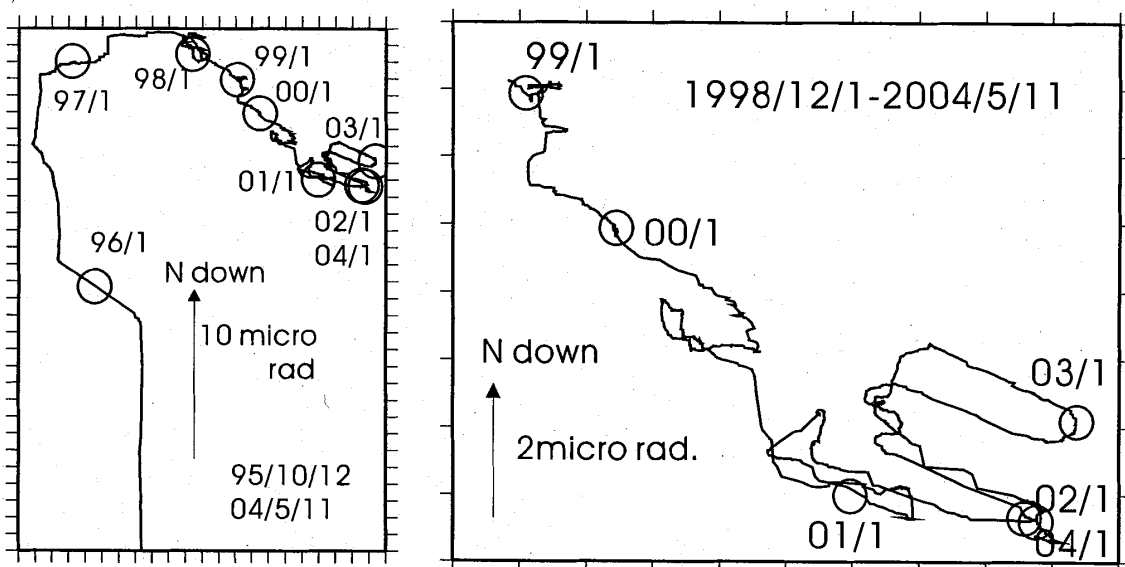
第3図 2004年2月1日から2004年5月11日までの1時間値。

Fig.3 Hourly strain, tilt, atmospheric pressure and precipitation change in the period from February 1, 2004 to May 11, 2004.



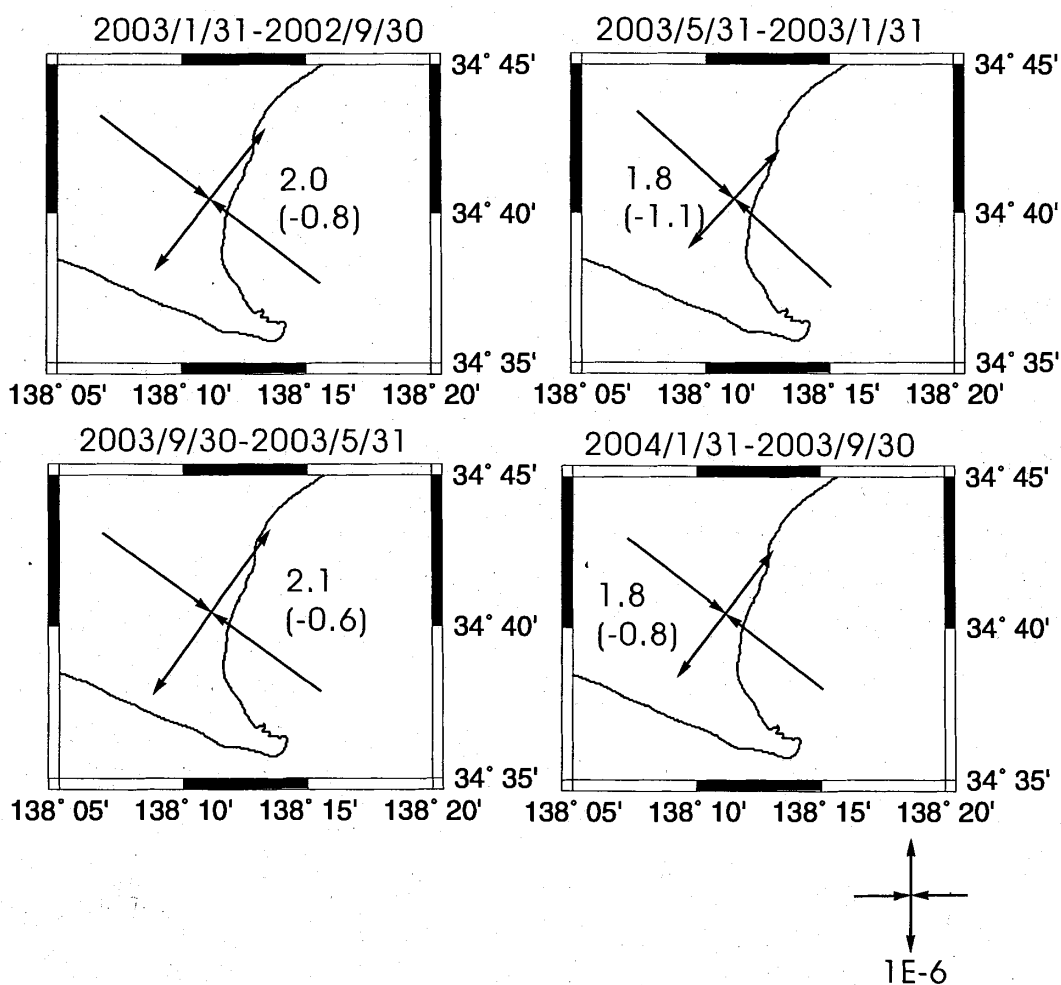
第4図 1995年10月12日から2004年5月11日までの日平均値。

Fig.4 Daily mean strain, tilt, atmospheric pressure and precipitation change in the period from October 12, 1995 to May 11, 2004.



第5図 傾斜ベクトル . 左 : 1995年10月12日~2004年5月11日 . 右 : 1998年12月1日~2004年5月11日 .

Fig.5 Tilting vector diagram in the period from October 12, 1995 to May 11, 2004 (left) and from December 1, 1998 to May 11, 2004(right).



第6図 2002年9月30日から2004年1月31日までの4ヶ月ごとの主歪の変化 . 図中の数字は最大せん断歪 , カッコ内の数字は面積歪の大きさを示す .

Fig.6 Principal strain change in every 4 months from September 30, 2002 to January 31, 2004. Figures indicate maximum shear strain and figures in the bracket indicate dilation.